

古代アメリカ学会 第1回西日本部会研究懇談会のお知らせ

昨年12月の総会でご承認いただきましたように、今年度よりあらたに学会主催の研究懇談会（東日本部会、西日本部会）を企画しております。去る5/19（土）に開催された第1東日本部会は、盛況の内に幕を閉じました。

そしてこのたび、第1回西日本部会研究懇談会を以下の要領で開催することになりました。どうかふるってご参加下さい。また、非会員の方も参加できますので、関心のある方にはお声かけ下さい。参加の事前登録は必要ありません。

〔研究懇談会テーマ〕

「中南米のパブリック考古学 – 人々と遺跡の狭間で」

〔研究懇談会概要〕

パブリック考古学は、多くの門外漢にとって耳慣れない新語に聞こえるかもしれません。「古代の遺跡を観光や教育などの資源として活用し、遺跡周辺の貧しい村落社会に寄与する際の諸問題を研究すること」と例示したら、語弊が過ぎるでしょうか。以前から、我が国における中南米考古学者の間でも個別の実践例は知られていましたが、まとまって学会の遡上に載るのは今回が初めてです。中米・南米それぞれを専門とする現地経験豊富な3名の発表者を迎え、ディスカッションの時間も設けますので、事例間の比較や、マクロな視点の導入なども期待されます。

●発表1. ダニエル・サウセド・セガミ（総合研究大学院大学・博士後期課程）

「ペルー北海岸におけるパブリック考古学の活動」

いつの時代も、人類は遠い過去の遺物に関心を抱いてきた。その関心は、近現代における「先進国」を中心に、考古学という学問にもなった。そして考古学者は、遺物や遺跡を分析する専門家として、過去の社会や文化の理解に努めてきた。

しかしながら、過去にばかり目を向けていると、考古学の視野や可能性が狭まるようにも思われる。考古学は、過去だけでなく現在における人々と物質文化との関係についても研究できる学問だからである。そしてまさにその関係こそがパブリック考古学の主軸となっている。本発表では、このような理解に基づき、かつペルー北海岸地域の事例を用いて、過去の遺跡や遺物を今日の地域住民がどのように解釈し、活用しようとしているのか、論じてみたい。

【キーワード】

パブリック考古学、ペルー北海岸、ランバイエケ

●発表2. 大谷博則（奈良大学院博士満期退学）

「ペルー・コンチュコス地域における住民参加によるインカ道の保全活用：文化・道路・教育行政間での連携体制構築を基にした考察」

【概要】

地域住民の参加は文化遺産の保全活用における主要テーマとして認識されており、ペルーのインカ道プロジェクトにおいても、インカ道の観光活用や清掃ボランティアを中心にこれまで議論されてきた。しかし、地域住民の意見や事情を個別に考慮した事例はほとんどない。

インカ道をこれまで利用し管理してきたのは地域社会である。そのため、文化遺産の保全活用を論じる際には、当該社会の実情を考慮することは不可欠である。同時に、国際援助やペルー国や県による政策・制度など、様々な要素を踏まえ、実現可能で、持続可能な制度を構築する必要がある。

そこで、本発表では、ペルーの道路行政で実施されている事業を基とした新たなインカ道などの古道を保全・修復・維持し、地域教育に活用するための制度構築について述べる。そして、本事例研究を通じて、ペルー国におけるインカ道の保全活用について論じる。

【キーワード】

ペルー、コンチュコス地域、インカ道、文化遺産保全活用、住民参加

●発表3. 村野正景（京都府京都文化博物館）

「パブリック考古学の実践と課題 - エルサルバドル共和国における経験をもとに -」

【概要】

いわゆる開発途上国におけるパブリック考古学は、考古学（者）や文化遺産と人々の間の不自由の原因を取り除き、知識、自信、楽しみ、啓示などを享受する本質的自由を増大するプロセスと考える。この作業は、これまでも多くの考古学者によって実践されてきたものの、現在では、これまで以上に、個々の取り組みの経験や知識を集積させ、他国や他地域での参照モデルとする、あるいは理論的枠組みを形成する、それらを議論する土台をつくる必要性が意識されている。エルサルバドル共和国では、1995年以降、発掘調査と同時に地域の社会開発を目指した実践が日本の調査隊によりおこなわれてきた。本発表では、それらの実践を報告し、事例や経験の共有を図りつつ、パブリック考古学の意義と課題について検討してみたい。

【日時】2012年6月16日（土） 13:30より

- ・発表1 13:30～14:15（および質疑応答10分）
- ・発表2 14:25～15:10（および質疑応答10分）
- ・小休憩（10分）
- ・発表3 15:30～16:15（および質疑応答10分）
- ・ディスカッション 16:25～（17:00終了予定）

【会場】：神戸市外国語大学「三木記念会館」

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/access.html>

正門から三木記念会館までは、下図を参照して下さい。



皆様のご参加をお待ちしております。

【連絡先】：

- ・西日本部会幹事・芝田幸一郎（神戸市外国語大学）ks*inst.kobe-cufs.ac.jp（*を@に換えて下さい）
- ・古代アメリカ学会事務局 jssaa@sa.rwx.jp